

21世紀山形県民会議

五輪後 見据えた戦略必要



長沢 豊氏

海外から観光客を呼び込むには、山形県だけでなく東北全体で考えることも必要だ。

具体的な取り組み

「これまでに出た論点を踏まえ、フル規格新幹線を中心とした高速交通網の整備に向けた具体的な戦略などを伺いたい。」

文化を新たな切り口で融合させ、交流人口を拡大させるため、加速的に事業を展開していきたい。住んでいる地域を魅力的にすることで、国に早く整備を進めるべきだと思っております。雰囲気づくりに努力していく。

清野 酒田港を利用する場合は、月山道路は急勾配などで海上コンテナを輸送できず、新庄経田は道路の線形不良による品質低下が発生するといった課題がある。港と道路を結ぶトータル的な整備が必要だ。仙台空港には庄内からの直行バスの運行が予定されているが、内陸からの公共交通がない。バス路線復活や東北自動車道村田ジャンクションから直行できるルートの開設などがあれば、アクセス時間の短縮になる。交通インフラ整備は地域経済活性化にとって重要で、それが前提となつて地域創生ができる。県民の機運を盛り上げ、積極的に国に働き掛けなければならぬ。一方、魅力ある観光地をいかにつくるか、地元でなすべきこともあるのではないか。

吉村 奥羽・羽越両新幹線の整備推進に向けた課題や効果について分析、検討する取り組みを進めたい。政府の要望では、「予算を2倍に増やせば、20年でできることが10年でできる」というような提案が大事。高速道路網の整備に関しては、高速道路を最大限に活用したビジョンを示し、各方面に声を上げていくことが重要だ。航空路線は一層の利便性向上を図り、酒田港についてはさらなる港湾機能の強化に努める。高速交通網は、企業立地の促進や新たな雇用の創出、県産品の販路拡大、観光交流の推進などによる地域活性化の礎となる。東京五輪・パラリンピック後を見据え、日本全体を俯瞰(ふかん)した社会インフラの整備を進めたい。

中川 インフラ整備に向けては地域の魅力をどうつくるかが重要になってくる。米沢は山形大工学部があり、新たな技術が生まれ、研究施設の立地も進むものづくりのまち。研究都市として位置付けていきたい。来年には米沢牛の地理的表示(GI)登録も見えてきている状況だ。上杉の城下町という歴史的な魅力もある。新しい歴史と新しい

長沢 インフラ整備は短期、長期で考えなければならぬ。ここに集まっている各界の方が県民合意の21世紀のストーリーをどう作り上げていくかが重要だ。そのためにも共生経済、共生社会をつくり上げていくことが大事。海外から観光客を呼び込むには、山形県だけでなく、東北全体で考えることも必要だ。JAグループでは輸出拡大に取り組んでいるが、まだまだ少なく、政府が掲げる1兆円



国井 英夫氏

インバウンド事業拡張へ、東北各地のバス事業社と連携し、広域的な観光商品づくりを進める。

には程遠い。さらなる国によりたい。そのために東北各地のバス事業社と連携し、広域的な観光商品づくりを進める考えを持っている。地域をよき知っている地元の人たちが商品開発に取り組みすべきであり、眠っている資源に着目した商品開発を進める。小さな動きだが、大きな波になるよう連携の輪を広げていきたい。

国井 民間企業としてできることは何か。自分たちは仙台空港の国際化に伴い、酒田を起点とする高速バスの直行便運行を計画している。庄内への誘客だけが目的ではない。仙台空港を有効に活用し、インバウンド事業の拡張を図ることは何か。自分たちは仙台空港の国際化に伴い、酒田を起点とする高速バスの直行便運行を計画している。庄内への誘客だけが目的ではない。仙台空港を有効に活用し、インバウンド事業の拡張を図ることは何か。自分たちは仙台

遠藤 フル規格新幹線の整備には、財源の問題をどうするかという点もある。また、停車駅もこれまで止まっていた所を飛ばさなければならぬ。その間の方をどう結び付けていくのかという問題もある。そのような課題もしっかりと詰めていかなければならない。観光については、2020年までに、インバウンドを4千万人にまでもってきたい。ただ、山形に来てくれるかが問題となる。6次産業化にとどまらず、日本酒などは造る過程も見てもらい、観光を結び付けることで「9次産業化」にすべきだ。

加藤 日本海側を通る羽越新幹線と、太平洋側からの支線となる奥羽新幹線とは、流と目線で近隣県との連携が重要となる。鉄道網は道路の「ミッシングリンク」(未接続区間)のような概念ではない。途切れた状態はあり得ず、整備ルートとなる新潟、福島両県などとの協力関係がなければ、フル規格化へとは動かない。羽越ならば新潟、山形、秋田の3県の協力体制をつくり、どう働き掛けていくかが前に進む時には必要だ。本県だけでなく、東北、日本海側と連携してビジョンをつくり、働き掛けることが重要になる。現実的に進めるには予算が必要で、国の予算確保に向け、息長く、着実に求め続けることが大事になると必要となる。鉄道網は道路の



遠藤 利明氏

山形に来てもらうため、6次産業化にとどまらず、観光を結び付けることで「9次産業化」にすべきだ。



加藤 鮎子氏

鉄道網整備は東北、日本海側と連携してビジョンをつくり、働き掛けることが重要になる。